



## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 極東証券株式会社  
 コード番号 8706 URL <http://www.kvokuto-sec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 菊池 一広

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 白井 雅人

TEL 03-3666-5130

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日

平成25年11月28日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,029	62.5	6,732	57.8	3,371	82.3	3,803	96.5	5,078	314.8
25年3月期第2四半期	4,325	33.2	4,265	34.2	1,849	254.4	1,935	209.6	1,224	351.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,912百万円 (147.2%) 25年3月期第2四半期 1,177百万円 (372.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
26年3月期第2四半期	159.20		—	
25年3月期第2四半期	38.38		—	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
26年3月期第2四半期	81,304		42,059		51.3	1,306.26		
25年3月期	77,754		40,293		51.8	1,263.01		

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 41,671百万円 25年3月期 40,292百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
25年3月期	—	10.00	—	72.00	82.00
26年3月期	—	70.00			

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

当社グループは、業績予想の開示を行っておりません。詳細は、3ページ「【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

合同会社アルカイオス匿名組合  
 合同会社フィール旭川開発匿名組合  
 新規 4社 (社名) 東西セレクト・セブン合同会社匿名組合、除外 1社 (社名)  
 合  
 神谷町インベスト合同会社匿名組合

(注) 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、4ページ「【定性的情報・財務諸表等】4. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 会計方針の変更等」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	32,779,000 株	25年3月期	32,779,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	877,367 株	25年3月期	876,861 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	31,901,933 株	25年3月期2Q	31,902,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。なお、四半期連結財務諸表につきましては、この四半期決算短信開示時点において、四半期レビュー手続を行っております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社グループは、「3. 平成26年3月期の連結業績予想」に記載のとおり、業績予想の開示を行っておらず、したがって配当予想につきましても開示を行っておりません。ただし、その代替として、当社グループの配当基準日である期末又は第2四半期末から起算して10営業日目を目処に、連結業績の速報値とあわせて、配当額を公表してまいります。

## ○添付資料の目次

定性的情報・財務諸表等	2
1. 経営成績に関する説明	2
2. 財政状態に関する説明	3
3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
4. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	4
(2) 会計方針の変更等	4
5. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
「参考資料」	11
平成26年3月期第2四半期連結決算資料	11
(1) 受入手数料	11
(2) トレーディング損益	11
「参考資料」	12
平成26年3月期第2四半期決算資料	12
(1) 株券売買高（市場デリバティブ取引を除く）	12
(2) 引受・募集・売上の取扱高	12
(3) 自己資本規制比率	12
(4) 役職員数	12
「参考資料」	13
連結損益計算書の四半期推移	13

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の経済政策への期待や、日銀の一段の金融緩和政策もあり、景気回復の動きが続きました。海外においては、米国では緩やかな景気回復基調が続きました。一方で景気低迷が続いた欧州、景気減速感が台頭した中国、アジアでも、期の後半では回復の兆しが見られました。

続伸で始まった日経平均株価は、6月央にはほぼ期初の水準にまで急落する場面もありましたが、その後は所謂「アベノミクス」や東京オリンピック招致決定による景気浮揚期待と、米金融政策への懸念とを交互に反映する相場となりました。為替は対ドルでは5月から6月にかけて1ドル＝103円台から93円台へ急騰したものの当期末は98円台に、対ユーロは総じて緩やかな円安基調で推移しました。一時急上昇した日本の長期金利も落ち着きを取り戻しました。

こうした環境の中、当社グループは、Face to Faceのビジネスモデルに立脚しつつ、お客さまの多様なニーズにお応えするため、引き続き「特色ある旬の商品」の提供に努めました。その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、営業収益70億29百万円（前年同期比162.5%）、純営業収益67億32百万円（同157.8%）、経常利益38億3百万円（同196.5%）、四半期純利益50億78百万円（同414.8%）となりました。

当第2四半期連結累計期間における収益等の内訳は次のとおりです。

#### (1) 受入手数料

受入手数料は16億5百万円（前年同期比227.6%）となりました。内訳は以下のようになっております。

##### ① 委託手数料

株券委託手数料は、9億6百万円（同444.2%）を計上し、これに債券委託手数料等を加えた「委託手数料」は、9億25百万円（同441.9%）となりました。

##### ② 引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料

「引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料」は、18百万円（同118.5%）となりました。

##### ③ 募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料

「募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料」は、投資信託の取扱いの増加により、4億66百万円（同139.0%）となりました。

##### ④ その他の受入手数料

主に投資信託の代行手数料からなる「その他の受入手数料」は、1億95百万円（同135.2%）となりました。

#### (2) トレーディング損益

株券等トレーディング損益は、3億15百万円の利益（前年同期比552.1%）、債券等トレーディング損益につきましては、外貨建外国債券の販売の好調により、34億85百万円の利益（同111.5%）となりました。これらにその他のトレーディング損益5百万円の利益（前年同期は68百万円の損失）を加えた「トレーディング損益」は、38億7百万円の利益（前年同期比122.2%）となりました。

#### (3) 営業投資有価証券損益

連結子会社（㈱FEインベスト）の「営業投資有価証券損益」は、94百万円の利益（前年同期は4百万円の損失）となりました。

#### (4) 金融収支

金融収益6億64百万円（前年同期比142.3%）から金融費用2億97百万円（同497.5%）を差し引いた「金融収支」は、3億67百万円（同90.2%）となりました。

#### (5) その他の営業収入

「その他の営業収入」は、連結子会社における手数料収入や不動産賃貸収入を中心に、8億57百万円（前年同期は42百万円）となりました。

#### (6) 販売費・一般管理費

「販売費・一般管理費」は、33億60百万円（前年同期比139.1%）となりました。

#### (7) 営業外損益

営業外収益は、投資有価証券の配当金を中心に合計で5億41百万円（前年同期比411.2%）を計上いたしました。一方、営業外費用は、匿名組合投資損失等、合計で1億9百万円（同241.6%）を計上し、営業外収益から営業外費用を差し引いた「営業外損益」は4億31百万円の利益（同500.1%）となりました。

#### (8) 特別損益

特別利益は、投資有価証券売却益等合計で40億61百万円（前年同期は5百万円）を計上いたしました。一方、特別損失は、減損損失等合計で6億85百万円（前年同期は8百万円）を計上し、特別利益から特別損失を差し引いた「特別損益」は、33億75百万円の利益（前年同期は2百万円の損失）となりました。

## 2. 財政状態に関する説明

### (1) 資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、813億4百万円（前連結会計年度末は777億54百万円）となり、35億49百万円増加しました。流動資産は、575億85百万円（前連結会計年度末は564億94百万円）となり、10億91百万円増加しました。主な要因としては、トレーディング商品の増加（241億63百万円から269億82百万円へ28億19百万円増）、信用取引資産の増加（56億46百万円から72億17百万円へ15億71百万円増）があった一方で、現金・預金の減少（107億7百万円から83億94百万円へ23億12百万円減）が生じたことなどがあげられます。固定資産は、236億83百万円（前連結会計年度末は212億59百万円）となり、24億23百万円増加しました。これは、連結子会社増加に伴う有形固定資産の増加（48億61百万円から124億19百万円へ75億58百万円増）があった一方で、投資有価証券の減少（143億43百万円から92億43百万円へ50億99百万円減）が生じたことなどがあげられます。

### (2) 負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、392億44百万円（前連結会計年度末は374億60百万円）となり、17億83百万円増加しました。流動負債は、349億47百万円（前連結会計年度末は338億63百万円）となり、10億83百万円増加しました。主な要因としては、預り金の増加（97億66百万円から108億71百万円へ11億5百万円増）などがあげられます。固定負債は、42億81百万円（前連結会計年度末は35億83百万円）となり、6億98百万円増加しました。これは、長期借入金の増加（10億円から23億20百万円へ13億20百万円増）があった一方で、その他の固定負債の減少（25億41百万円から19億13百万円へ6億28百万円減）が生じたことなどがあげられます。

### (3) 純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、420億59百万円（前連結会計年度末は402億93百万円）となり、17億66百万円増加しました。これは利益剰余金の増加（275億33百万円から303億14百万円へ27億81百万円増）があった一方で、その他有価証券評価差額金の減少（35億95百万円から21億94百万円へ14億1百万円減）が生じたことなどがあげられます。

## 3. 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

### 「業績予想を開示できない理由」

当社グループの営業収益は、証券市場に係る受入手数料及びトレーディング損益を柱としており、その大半が株式市場及び債券市場を源泉としております。株式市場関連収益の連結純営業収益に占める割合は、平成25年3月期が9.1%（受入手数料6.3%、トレーディング損益2.8%）、平成24年3月期が8.4%（受入手数料4.7%、トレーディング損益3.7%）となっており、また、債券市場関連収益につきましては、トレーディング損益を中心に、平成25年3月期が73.5%、平成24年3月期が74.0%と、相当の割合に達しております。当社グループは、証券市場を核とした様々なビジネスに加え、投資銀行業務の強化を図るなど、収益源の多角化を通じて収益の安定性確保に努めてはおりますが、それでもなお、業績が証券市場の動向に左右される傾向が強く、株式・債券市場の好・不調によって、業績が大きく変動する可能性があります。加えて、当社グループは、Face to Faceのビジネス・モデルを堅持しつつ、お客さまの多様な資金運用ニーズに応えるため様々な金融商品を取り扱っており、その過程で、まとまった量の外貨建外国債券を一時的に保有することがあります。そのため、外国為替市場等の急激な変動により、非常に短い期間に多額の評価損益が発生する可能性も否定できません。

もとより、証券市場や外国為替市場は、内外の政治・経済情勢、企業収益、金利、税制等、様々な要因を反映して変動します。したがって、当社グループの業績を予想するためには、あらかじめこれら変動要因を予測しつつ将来の市場動向を的確に把握する必要がありますが、それを実現することは、不可能に近いのが実情であります。さらに、投資銀行業務に関しても、収益につながる案件をすべて事前に予想することは、極めて困難であります。当社グループといたしましては、こうした多くの不確実な要因により予想と実績との間に大きな乖離が生ずる可能性の高い状況の中で、敢えて業績予想を開示することは、結果的に、市場に誤ったメッセージを発信することにつながりかねず、却って株主や投資者の皆さまの投資判断に悪影響を与え、公正な株価形成を阻害するおそれがあると思料します。

上述の理由から、当社グループは、業績予想の開示は行わず、その代替として業績数値の早期開示に努めることとし、連結業績の数値がほぼ確定すると考えられる期末又は四半期末から起算して10営業日を目途に、当該数値を速報値として公表してまいります。

#### 4. サマリー情報（注記事項）に関する事項

##### （1）連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

###### 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合は連結財務諸表に関する会計基準等の適用に伴い、連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間において、神谷町インベスト合同会社匿名組合が新たに設立されたため、連結の範囲に含めております。

##### （2）会計方針の変更等

###### 連結財務諸表に関する会計基準等の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成23年3月25日）、「一定の特別目的会社に係る開示に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第15号 平成23年3月25日）、「連結財務諸表における子会社及び関連会社の範囲の決定に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第22号 平成23年3月25日）及び「投資事業組合に対する支配力基準及び影響力基準の適用に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第20号 平成23年3月25日）を第1四半期連結会計期間より適用し、合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合を新たに連結子会社としました。

新たに連結子会社となる合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合への会計基準等の適用については、「連結財務諸表に関する会計基準」第44-4項(3)に定める経過的な扱いに従っており、適用初年度の期首において合同会社アルカイオス匿名組合、合同会社フィール旭川開発匿名組合、東西セレクト・セブン合同会社匿名組合に関する資産、負債及び少数株主持分を連結財務諸表上の適正な帳簿価額により評価しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	10,707	8,394
預託金	9,604	10,632
トレーディング商品	24,163	26,982
商品有価証券等	24,156	26,982
デリバティブ取引	7	—
約定見返勘定	1,531	636
営業投資有価証券	2,724	1,012
信用取引資産	5,646	7,217
信用取引貸付金	4,814	6,170
信用取引借証券担保金	831	1,046
その他の流動資産	2,171	2,719
貸倒引当金	△53	△11
流動資産計	56,494	57,585
固定資産		
有形固定資産	4,861	12,419
土地	4,006	8,200
その他	855	4,219
無形固定資産	106	92
投資その他の資産	16,291	11,171
投資有価証券	14,343	9,243
その他	1,994	1,970
貸倒引当金	△46	△43
固定資産計	21,259	23,683
繰延資産	—	35
資産合計	77,754	81,304
<b>負債の部</b>		
流動負債		
トレーディング商品	60	202
商品有価証券等	54	202
デリバティブ取引	6	—
信用取引負債	831	1,115
信用取引借入金	277	141
信用取引貸証券受入金	554	973
預り金	9,766	10,871
短期借入金	19,180	18,330
未払法人税等	2,190	2,738
賞与引当金	355	357
その他の流動負債	1,479	1,331
流動負債計	33,863	34,947
固定負債		
長期借入金	1,000	2,320
退職給付引当金	41	48
その他の固定負債	2,541	1,913
固定負債計	3,583	4,281

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	13	15
特別法上の準備金計	13	15
負債合計	37,460	39,244
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,774	4,774
利益剰余金	27,533	30,314
自己株式	△862	△863
株主資本合計	36,697	39,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,595	2,194
その他の包括利益累計額合計	3,595	2,194
少数株主持分	0	387
純資産合計	40,293	42,059
負債・純資産合計	77,754	81,304



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収益		
受入手数料	705	1,605
委託手数料	209	925
引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料	15	18
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	335	466
その他の受入手数料	144	195
トレーディング損益	3,115	3,807
営業投資有価証券損益	△4	94
金融収益	467	664
その他の営業収入	42	857
営業収益計	4,325	7,029
金融費用	59	297
純営業収益	4,265	6,732
販売費・一般管理費		
取引関係費	304	344
人件費	1,480	1,895
不動産関係費	229	322
事務費	246	304
減価償却費	46	100
租税公課	54	142
貸倒引当金繰入れ	2	12
その他	51	238
販売費・一般管理費計	2,415	3,360
営業利益	1,849	3,371
営業外収益		
受取配当金	119	388
その他	12	152
営業外収益計	131	541
営業外費用		
匿名組合投資損失	14	50
支払利息	1	41
投資事業組合運用損	22	—
その他	6	16
営業外費用計	45	109
経常利益	1,935	3,803

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
特別利益		
投資有価証券売却益	3	3,970
金融商品取引責任準備金戻入	2	—
その他	—	90
特別利益計	5	4,061
特別損失		
減損損失	—	655
金融商品取引責任準備金繰入れ	—	1
ゴルフ会員権売却損	7	—
その他	0	27
特別損失計	8	685
税金等調整前四半期純利益	1,933	7,179
法人税、住民税及び事業税	586	2,763
法人税等調整額	123	102
法人税等合計	709	2,865
少数株主損益調整前四半期純利益	1,224	4,313
少数株主損失(△)	△0	△765
四半期純利益	1,224	5,078

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,224	4,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	△1,401
その他の包括利益合計	△46	△1,401
四半期包括利益	1,177	2,912
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,178	3,677
少数株主に係る四半期包括利益	△0	△765

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

「参考資料」

平成26年3月期第2四半期連結決算資料

(1) 受入手数料

① 科目別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
委託手数料	209	925	715	341.9	731
(株券)	(203)	(906)	(702)	(344.2)	(716)
(債券)	(2)	(2)	(0)	(13.1)	(5)
引受け・売出し・特定投資家 向け売付け勧誘等の手数料	15	18	2	18.5	29
(株券)	(15)	(18)	(3)	(20.8)	(28)
(債券)	(0)	(-)	(△0)	(-)	(0)
募集・売出し・特定投資家向 け売付け勧誘等の取扱手数料	335	466	130	39.0	828
その他の受入手数料	144	195	50	35.2	457
合 計	705	1,605	900	127.6	2,046

② 商品別内訳

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券	224	930	706	315.1	755
債券	3	3	0	0.7	6
受益証券	471	652	180	38.4	1,097
その他	7	20	13	186.2	186
合 計	705	1,605	900	127.6	2,046

(2) トレーディング損益

(単位：百万円)

	前第2四半期	当第2四半期	増 減		前 期
			金 額	増減率 (%)	
株券等	57	315	258	452.1	343
債券等	3,126	3,485	359	11.5	8,867
その他	△68	5	74	-	135
合 計	3,115	3,807	691	22.2	9,347

「参考資料」

平成26年3月期第2四半期決算資料

(1) 株券売買高 (市場デリバティブ取引を除く)

(単位：百万株、百万円)

	前第2四半期		当第2四半期		増減率 (%)		前 期	
	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額	株 数	金 額
合計	935	272,489	1,653	713,273	76.8	161.8	2,741	773,890
(委託)	(122)	(46,751)	(316)	(193,141)	(157.9)	(313.1)	(406)	(155,418)
(自己)	(812)	(225,738)	(1,336)	(520,131)	(64.6)	(130.4)	(2,334)	(618,472)
委託比率	13.1%	17.2%	19.2%	27.1%			14.8%	20.1%
東証シェア	0.19%	0.09%	0.17%	0.09%			0.22%	0.10%
1株当たり 委託手数料	1円61銭		2円84銭				1円72銭	

(2) 引受・募集・売上の取扱高

(単位：百万株、百万円)

			前第2四半期	当第2四半期	増減率 (%)	前 期
引受高	株 券	株 数	0	0	△31.1	0
	〃	金 額	1,128	502	△55.5	2,739
	債 券	額面金額	100	—	—	100
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	—	—	—	—
募集・売上の 取扱高 (注)	株 券	株 数	0	0	△63.3	1
	〃	金 額	14,425	508	△96.5	15,826
	債 券	額面金額	7,866	764	△90.3	8,632
	受 益 証 券	額面金額	28,217	62,722	122.3	74,220
	コマーシャル・ペーパー および外国証券等	額面金額	—	2,397	—	4,050

(注) 売出高および私募の取扱高を含む。

(3) 自己資本規制比率

(単位：百万円)

		前第2四半期末	当第2四半期末	前 期 末	
基本的項目	(A)	31,276	35,439	33,024	
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	117	2,193	3,595	
	金融商品取引責任準備金	13	15	13	
	貸倒引当金	104	42	125	
	計	(B)	235	2,251	3,734
控除資産	(C)	14,682	16,920	15,175	
控除後自己資本	(A) + (B) - (C)	(D)	16,828	20,770	21,582
リスク相当額	市場リスク相当額	1,946	2,961	3,324	
	取引先リスク相当額	901	467	508	
	基礎的リスク相当額	1,296	1,379	1,278	
	計	(E)	4,144	4,808	5,111
自己資本規制比率	(D) / (E) × 100 (%)	406.0%	431.9%	422.1%	

(4) 役員員数

(単位：人)

	前第2四半期末	当第2四半期末	前 期 末
役員	9	9	9
従業員	238	245	233

## 「参考資料」

## 連結損益計算書の四半期推移

(単位：百万円)

	前第2四半期	前第3四半期	前第4四半期	当第1四半期	当第2四半期
	24. 7. 1	24. 10. 1	25. 1. 1	25. 4. 1	25. 7. 1
	24. 9. 30	24. 12. 31	25. 3. 31	25. 6. 30	25. 9. 30
I 営業収益	2,688	3,570	4,311	3,572	3,456
1. 受入手数料	399	454	886	953	652
2. トレーディング損益	1,996	2,837	3,394	1,997	1,809
3. 営業投資有価証券損益	9	△8	△415	△50	145
4. 金融収益	270	237	289	343	321
5. その他の営業収入	12	49	157	328	528
II 金融費用	33	29	36	109	187
純営業収益	2,655	3,541	4,275	3,462	3,269
III 販売費・一般管理費	1,224	1,247	1,409	1,640	1,719
1. 取引関係費	160	135	220	149	195
2. 人件費	752	774	726	990	904
3. 不動産関係費	114	127	137	153	169
4. 事務費	125	127	140	154	150
5. 減価償却費	24	24	23	47	52
6. 租税公課	30	28	41	58	84
7. 貸倒引当金繰入れ	△10	△0	23	—	12
8. その他	26	28	95	87	150
営業利益	1,430	2,293	2,865	1,822	1,549
IV 営業外収益	11	56	126	215	325
V 営業外費用	△26	23	18	75	34
経常利益	1,468	2,326	2,974	1,962	1,840
VI 特別利益	—	21	1,454	3,971	89
VII 特別損失	8	170	297	23	661
税金等調整前四半期純利益	1,460	2,176	4,132	5,909	1,269
法人税、住民税及び事業税	578	706	1,998	2,134	628
法人税等調整額	△34	61	△402	122	△20
少数株主損益調整前四半期純利益	917	1,408	2,535	3,652	661
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	0	△1	△5	△759
四半期純利益	917	1,408	2,537	3,657	1,421